

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 6月 18日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2278200155
法人名	有限会社 ワイ・エイチ企画
事業所名	グループホーム サンシティあらい
所在地 (電話番号)	〒431-0302 静岡県浜名郡新居町新居117番地の3 053-595-0050

評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年5月26日

## 【情報提供票より】(平成20年5月7日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	平成18年3月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤 13人, 非常勤 9 人, 常勤換算 13.2 人	

### (2)建物概要

建物形態	併設	新築
建物構造	鉄骨 造り	
	2 階建ての	2 階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,100 円	その他の経費(月額)	12,900 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 90,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	400 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4)利用者の概要(平成20年5月7日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 82.9 歳	最低 68 歳	最高 99 歳		

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	みなとクリニック 遠藤歯科医院
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設から2年余りが経過し、管理者の役が代表から職員に委譲されたところである。職員と利用者が馴れ合いでなくアットホームな雰囲気の中で、さまざまな角度から利用者によりと思われることを話し合い、出来ることからやっという空気がトップダウンでなく職員から出ている。日々の支援に役立っている独自の工夫も日頃、自由に意見を交わし合った結果であろう。代表のリーダーシップ、管理者の改善意識、年配の職員・若い職員の持ち味それぞれをうまく協働し、利用者との信頼関係も築かれている。ホームの特徴を一言で表現して「人に恵まれたホーム」である。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>利用者の水分摂取の記録を前回調査時に改善事項としてお願いしたが両ユニットとも確実な記録に取り組んでいただけた。また、家族への細やかな情報発信については、毎月発行しているサンシティあらい新聞に利用者個々の様子を職員が書き添えたり、家族懇談会を開催する等積極的な取組みが見られた。</p>
	②	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は評価調査をホーム運営に活かそうとの思いから全職員での取り組みを指示した。項目の解釈が難しく、的を得ないコメントもあったが、職員それぞれがグループホームに求められていることについて考えることが出来た。職員からも自分の仕事を見直す良い機会だったとの意見が聞かれた。</p>
重点項目	③	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は地域住民代表・役場介護保険課課長・地域包括センター・家族等をメンバーとして数回開催されている。都合もあり全員の参加はなかなか出来ないが地域包括センターの協力によりホームの現状や行事の様子等話し合い、アドバイスをいただいている。今後はホームが地域にとって必要な資源であることを理解していただき、ホームの問題を地域の方と話し合ったり、介護相談会開催として活用するなど運営推進会議を双方へのサービス向上に繋げていただきたい。</p>
	④	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族からの意見は改善につながることから、ホーム入口にご意見箱を設置し、口頭にも意見を出していただくようお願いした。その結果、職員の名前がわからないとの意見に対し玄関に名前と写真を掲示したり、訪問時間確認の為に時計を設置するなど改善が図られた。家族懇談会も開催され、意見交換の場となった。</p>
重点項目	④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入しており、地域のお祭りの屋台がホームへ立ち寄ってくれたり、ホームの夏祭りに地域の方に参加していただいた。隣接する公民館の各種教室で学んでいる方々がホームを訪問してフラダンスや大正琴、手品、老人会のハーモニカなど学習成果を披露している。サンシティ新聞を町内で回覧しホームへの理解を深めていただけており、今後ホームからも介護教室の開催等視野にあり、地域への貢献が期待出来る。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念は「入居様が地域住民として安心して安全な生活を送り地域との交流の下であきのこない暮らしができるように介護支援にあたります。」という地域密着型サービスに相応しいものにつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の支援の中で理念にある言葉は何回も出てくる言葉であり、絶えず意識をし、職員同士で話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入して、地域の祭り屋台がホームへ立ち寄り、ホームの夏祭りに地域の方に参加していただいた。隣接する公民館の教室で学ぶ学級生が訪問してフラダンスや大正琴、手品、老人会のハーモニカなど学習成果を披露している。サンシティ新聞を町内で回覧しホームへの理解を深めていただいている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価調査をホーム運営に活かそうとの思いから全職員での取り組みを指示した。項目の解釈が難しく得ないコメントもあったが、それぞれが考えたことが良かった。職員からも自分の仕事を見直す良い機会だったとの意見が聞かれた。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域住民代表・役場介護保険課課長・地域包括センターをメンバーとして数回開催されている。都合がつかず全員の参加はなかなか出来ないが地域包括センターの協力によりホームの現状や行事の様子等話し合い、アドバイスをいただいている。	○	地域委員への協力を継続して欲しい、ホームが地域にとって必要な資源であることを理解していただいた上でホームの問題を地域の方と話し合ったり、介護相談会開催として活用するなど運営推進会議を通じて双方へのサービス向上につながるよう今後とも積極的に取り組んでいかれたい。

静岡県 グループホームサンシティあらい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	役場とは事業所の役割や意義を理解していただき利用者へのサービス向上に共に取り組んでいただくようお願いしたり情報交換等に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月発行しているサンシティあらい新聞ではホーム全体の様子や行事予定等の報告に加え利用者個々の様子を職員が書き添えて金銭出納帳と共に家族のもとに送付している。家族懇談会も開かれて家族と職員、また家族同志の交流も出来た。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見は改善につながることから、ホーム入口にご意見箱を設置し、意見を出していただくよう口頭でもお願いした。職員の名前がわからないとの意見に対し玄関に名前と写真を掲示したり、訪問時間確認の為に時計を設置する等取り組んでいる。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	出来るだけ離職を防ぐよう意思の疎通を図っている。離職がある場合でも確実な申し送りや新しい職員に段階を追ってホームの介護の様式を覚えてもらい職員が代わることによる利用者へのダメージを抑えるよう配慮している。新しい職員に一番に手渡される座席表と部屋割表は必携品である。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の目的に相応しい職員が受講しており、研修後はホームで報告し共有している。オン・ザ・ジョブ方式で日々学んでいるが計画的な内部勉強会等の機会は少ない。職員には年配者も多く、特技を活かして利用者の暮らしを支援しているが、利用者により良い介護を提供する為の勉強を望んでいる。	○	毎月わずかな時間でも、看介護や食事作り、レクリエーション等内部職員で講師を務めて計画的に学びあえるような機会作りの工夫が望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所開設時には、系列ホームを見学したこともあり、管理者等一部職員は系列事業所との会議を通じて交流、情報交換をしているが、職員レベルでの同業者との交流は殆どされていない。	○	他ホームとの交流は気づきも多く、自身の介護技術の確認にもなり視野も広まることから相互訪問、交換研修等積極的な取り組みをお願いしたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用希望者や家族にはアセスメントシートの記入やホーム見学をお願いしている。良く話を聞いて生活歴の把握に努め馴染みの関係作りに励んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者が出来ないことを手伝いながら共に暮らすという認識の下に喜んだり悩みを話し合ったりしている。子供の育て方を職員に論じたり政治について解釈してくれたり利用者から学ぶことは多く、何よりも利用者からの感謝やお誉めの言葉は職員の支えになっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者の思いを時間をかけて理解してきており、それを活かして個々の希望を叶えるように尽くして行きたいと語っていた。訴えが変化する利用者に対しては何が一番良い形か悩みつつもその時その時にできるだけ良い方法を取るよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	朝礼やユニット毎の申し送りにより利用者の健康状態や医療に関する情報は共有されており、日々の介護の中で気づきを集めて介護計画に反映させている。家族もチームの一員という考えで意見を聞き取っており、利用者のリハビリにつながった例もある。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族や職員の意見を取り入れて、3ヶ月毎及び変化が見られた場合には現状に即した随時の見直しがされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が行かれない場合の通院や買物の付き添いをしている。また利用者の外出・外泊支援や家族のホーム訪問時の食事等にも柔軟に応じている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望する医療機関での受診を支援している。協力医は往診にも応じてくれるので特に問題が無い場合は協力医に受診している。ホームの裏に歯科医院があり、いずれも利用者の意向に沿った適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針を作成しており、家族・医師との連携により終末期に関わることについて常に職員同士話し合っている。状態変化の都度家族・医師と相談し、全員で方向をひとつにしている。レベル低下が著しい利用者にはその方だけの見守り表を作成してスタッフ全員での見守り確認に努めている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりを思いやり、否定しない介護から利用者の信頼を得て、気持ちが通じた時の喜びを職員から聞くことが出来た。調査訪問時に排せつ等利用者のプライドを傷つけるような場面もなく、管理者は日常でも職員の対応を注意することは殆どないとのことであった。書類は鍵のかかる書棚に保管されていた。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての基本的な時間の流れはあるが、起床・就寝、食事時間も利用者の希望に合わせている。夜勤の職員と話し込んで11時にそれぞれの部屋へ戻って就寝となることもある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1週間ずつ立てている献立は利用者の好みを取り入れている。野菜切り、味見や片付けに利用者は出来ることを受け持っている。調理の得意な職員が多く、美味しい食事が供され職員も共に食事をしていく。夜の時間が長いから昼に麺類や粉物を用い、夜は腹持ちが良い様に米飯にしている、との心遣いも聞くことが出来た。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は特に決められていないが希望に合わせてシャワーや足浴、半身浴等対応しており、風呂好きの利用者は毎日入浴している。便失禁の場合には入浴やシャワー浴でさっぱりといただいている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員はハーモニカや読書、歌や買物等利用者一人ひとりの趣味や特徴をよく捉えており、それが生活の中でなるべく行えるように支援している。利用者同士の助け合いも見られた。管理者の所属する吹奏楽団の演奏や毎月の行事、またボランティアの訪問も楽しみである。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	寒い時季はあまり出ないが穏やかな日には文化公園まで散歩に出かけて併設の図書館から利用者は好きな本を借りてきたり、暑い夏は車でドライブを楽しんでいる。忙しいときの外出希望にはベランダへ出て外の空気を吸っていただく等工夫しながら対応している。	○	通院の付き添いや入浴時には人手不足になりがちだが、出来るだけ利用者の希望にそった外出支援をお願いしたい。また、寒い時季の散歩により、風邪を引かない体力作りも期待できる。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を管理者や職員は理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。事務所を挟んでユニットが繋がっているので利用者は行き来して交流を楽しんでいた。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホームとしての避難訓練・通報訓練を実施している。地域自主防災会へ協力要請をしているが実現していない。	○	地域へホームの意義と役割を良く理解していただき、地域からの協力が得られるよう推進会議で議題にする等積極的な取り組みをお願いしたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々の食事の傾向も把握されており、野菜を中心としたバランスのよい献立が立てられている。毎食の摂食割合と水分摂取量も記録され、定期の体重測定も含め個々に応じた支援がされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は高窓からの採光で柔らかな明るさであり、暑いときには開閉により風を通して。ホーム内は清潔で利用者の行事写真や生花が飾られ居心地よく過ごせるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は家族の写真や曾孫さんから送られたメッセージ、プレゼントの花の鉢植えなどで飾られていた。部屋に物が無い部屋も見られたが、利用者が部屋に物を出しておくことを好まない為本人本位の支援をしている。		